

1. 開会

松尾福祉課長補佐 司会進行

2. あいさつ

中村福祉課長

「新型コロナの感染者が保育園や放課後児童クラブから出た場合は、福祉課へ報告を頂いています。これまで1月以降130件ほどの報告がありますが、ここ数日は減少傾向となっています。皆様もこのような中での保育について大変ご苦労されていると思いますが、児童の健全育成には工夫をしながら力を入れていく必要があると考えております。

この会議では子育て関連施設の利用定員の設定や、計画値の見直しについて協議をする場となっています。また近年は子どもを取り巻く環境が厳しくなっていますので、ここで前向きな議論をいたしまして次につなげて頂ければと思います。」

3. 委員紹介

委員名簿の確認により紹介

※委員へ委嘱状を配布。

4. 協議

○会長、副会長の互選

(立候補無し、事務局からあらかじめ依頼した吉牟田委員が会長(議長)、西河委員が副会長に決定)

○吉牟田会長よりあいさつ

委員の皆様それぞれの立場から積極的なご意見をお願いします。

事務局より計画の経過や評価が説明されますので、皆さまのお立場で責任を持って検討し、皆さまの情報を1つでも2つでもご披露して頂ければと思います。よろしくをお願いします。それでは協議に入ります

(1) 第二期 鹿島市子ども子育て支援事業計画について【資料1】

事務局 宮崎より計画について説明

(第2期計画の冊子配布についても説明)

== 質疑無し ==

(2) 鹿島市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況(令和2年度分)に係る点検・評価について【資料2】

事務局宮崎より説明

Q 病児・病後児保育事業について、鹿島市内での施設でも利用できるようにできないでしょうか？（武富委員）

A 平成 29 年から市内の施設に働きかけを行ってきましたが、病児保育については医療機関の専門サポートが無いと難しいです。医療機関ができるということであれば私達もサポートしたいのですが、利用の時期が不定期ですので施設の余裕や医療機関との連携も必要となります。今後も実現に向けて前向きに検討したいと思います。（中村課長）

Q 鹿島小と明倫小では受入れの人数も違うようですが、元々の小学校の生徒数は何人でしょうか？（土井委員）

A 鹿島小学校は 357 人、明倫小は 450 人となっています（三原係長）

Q 誕生院保育園の園長山口です。放課後に子どもが遊ぶ公園などの施設が鹿島は少なく、特に明倫地区は中川公園しかないですが、子どもは雰囲気怖いイメージを持っているようです。中央児童遊園も現在使うことが出来ず、遠い公園に行くしかありません。また、なぜ遠い能古見のやまびこ広場を整備したのかという質問もよくあります。私達も能古見の公園を整備するときになぜもっと町中に作らないのかと話をしていました。今後の市の計画として、安心して遊べる公園の整備計画などがあればお願いします（山口委員）

A 中央児童遊園については、今まで設置していましたタコ型の遊具について、老朽化により撤去しましたが、その後には誰もが遊べるようなユニバーサルデザインの遊具を設置するよう令和 4 年度で検討しています。その他の明倫小校区への公園の整備などは今のところ計画はありません。（宮崎）

Q 明朗幼稚園の西河です。私も山口さんと同意見で、公園の整備等に力を入れれば子育てがしやすい住みやすい街となり、人口も増えていくのではと思います（西河委員）

A ご意見ありがとうございます。公園整備については議会でも議題となっているところです。市内では児童遊園と都市公園があり、児童遊園については中央児童遊園に新たな遊具の整備を検討中です。都市公園については委員がおっしゃられたご意見を、担当課である都市建設課へ伝えていきたいと思います（中村課長）

Q 山口委員、西河委員と同じように感じていましたので、よろしく申し上げます。また、明倫小の学童については新しく施設を建設して頂き、子どもたちも保護者もありがたいと思っていちゃいますのでここでお伝えしたいと思います。ありがとうございました（大川内委員）

（3）教育・保育施設および放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の利用状況について【資料 3-1、3-2】

事務局 宮崎より説明

Q 保育園や幼稚園の受入などの詳細が報告されましたが、教育施設からご意見等がありますか？（吉牟田会長）

A 小学生のクラブ活動が活発になるのは良いことですが、保護者がその小学生のお子さんのお世話のために、下の保育園や幼稚園の子どもさんがほったらかしになる場合が多くありますので、結果、利用児童が多くなるという現状もあります（山口委員）

Q 明倫小のほがらかCクラブについては、学年を高学年に制限しての受入と聞いていますので、どうしても低学年の待機児童が出てしまうと思います。待機児童が多い学校などは、例えば利用児童の保護者に現在の待機児童数などを開示し、預けなくてもよい方へ働きかけなどもできれば、本当に保育が必要な家庭分の確保ができるのではないかと思いますか？（土井委員）

A ほがらかCについては音楽室から体育館1階へR4.2月に移動しました。R4.4月からは全学年受入が可能となりましたので、受入人数を増やすことが出来たと考えています。また保護者への待機児童数の開示による利用の自粛の協力については今後検討していきたいと思います。（宮崎）

Q 学童の利用料が変更になっていると思いますが、その検討時期や内容はどのようなものでしょうか？（土井委員）

A 令和2年度中に検討し、議会等でも承認していただいています。変更内容ですが、令和3年度は夏休みの利用料を3千円から1日6千円に、半日利用であれば3千円に変更しています。令和4年度については8月以外は月3千円から4千円へ、夏休みは6千円から8千円、半日であれば3千円から4千円へ変更になります。（宮崎）

A 補足ですが、毎年利用者数が増え、支援員も多くなっていますので事業費が増額しています。国の基準では事業費の半額程度を保護者から負担金しても良いとなっていますが、それでは保護者の負担が大きすぎますので例年事業費の25%ほどを頂いています。ただ年々事業費が増えていますので負担金の増額をお願いするものです。また非課税世帯や多子世帯の減免制度も新しく設けたところです。令和2年11月に保護者説明会を行い、ご理解をいただきました。（中村課長）

A 学童は保護者との連携や支援員の教育も大切です。また質と量も継続して確保できるのかも、今後の会議で検討していければと思います。（吉牟田会長）

他に全体的なご質問、ご意見等はないでしょうか？（吉牟田会長）

Q 保育士の試験が難しく、なかなか保育士が増えません。国の採用についての今後の方針や考えなどの情報がありますか？

A 国家試験となりますが合格率が20%を切っています。なるべく合格率が上がるよう、しかし適正な保育士を確保していくよう国でも努力をしているようです。(吉牟田会長)

Q 子育て支援についても今のSDGSの観点を取り入れた計画が立てられないでしょうか。公園をただ整備するのではなく、学びも行えるような公園に整備できないでしょうか。他市からは鹿島市は積極的にSDGSに取り組んでいるよね、とよく言われますが鹿島市民はあまりわかっていない人も多いと思います。できればそれらを取り入れた計画をお願いしたいです。(濱本委員)

A 子育て支援については、前段で説明しました子育て支援センターのファミサポについて持続可能な事業、誰もが利用しやすい事業へ運用を改正していきたいと考えております。また来年度のこの会議は、計画の変更作業時期にもなりますので、SDGSも取り入れた計画反映を検討できればと思います。(宮崎)

A 子育て支援センター迎です。ファミサポ制度を知らない方もまだまだいらっしゃいますので、周知を行っていきたくと考えています。初めて利用する方はやはり最初は知らない方に我が子を預けることに不安を感じられます。無料クーポンを配布して利用へのきっかけづくりを行っています。(迎委員)

Q 子どもの貧困やヤングケアラーの実態が鹿島市にありますか？(武富委員)

A 子どもの貧困については、虐待やネグレクトの相談はありますので福祉課家庭相談室にて対応を行っています。ヤングケアラーについては調査を行っていますが、今のところ対象者は無いと報告を受けています。該当がある場合は福祉課にて対応を行っていきたくと考えています。(宮崎)

(4) その他

事務局宮崎より委員報酬の手続き、R4.4月からの委員委嘱について説明

～ 吉牟田会長、西河副会長は降壇 ～

5. 閉会